

鬼怒無月 guitar
尾花毅 8string guitar

2023 09月23日(土)

開場 19:30 night live

開演 20:00

(2ステージ入替なし) (1drink=600~)

MC=3300+2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



鬼怒無月

'64年神奈川県出身。高校時代より音楽活動始める。'90年に自己のグループボンデーフルーツを結成、'94年にバイオリン奏者勝井祐二と共に発足したレーベル「まぼろしの世界」より現在までに最新作の「Bondagefruit6」('05年2月発売)を含む6枚のアルバムを発表。ボンデーフルーツは'98年"Scandinavian Progressive Rock Festival"、'99年にはサンフランシスコの"Prog Fest '99"に招かれるなど海外での評価も高い。ボンデーフルーツと平行してEWEより2枚のアルバムをリリースしているチェンバーロックバンド「Warehouse」ギターインストルメンタルの極を追求する「Coil」勝井祐二とのデュオ「Pere-Furu」壺井彰久(vn)との「ERA」吉田達也(ds)の「是巨人」カルメンマキ(vo)の「サラマンドラ」更に灰野敬二(vo,g etc.)、常味裕司(oud)とのコラボレーション、ギターソロ日々自己のギタースタイルを進化させ続ける異才ギタリスト。

尾花毅

幼少期をドイツで過ごしクラシックギターのレッスンを受け始める。学生時代は自作曲を演奏する。プログレッシブハードロックバンドにて都内近郊のライブハウスで活動する日々を過ごす。あるきっかけで耳にしたブラジル音楽に衝撃を受け、再びクラシックギターを手にする。様々なブラジルの音楽から影響を受けてきたが、7弦ギターを手にしてからは特に古いサンバやショーロから多大な影響を受け現在に至る。7弦ギターの特徴を生かし幅広い音楽を通して身に着けたプレイスタイルでクラシック、JAZZ、ブラジルまで広範囲のユニットに参加する他、ブラジルから来日するミュージシャンのサポート等、数多くのライブをこなす日々を送っている。近年は自らが製作したマイククロホンを販売するブランド「OBANA Microfone」を立ち上げ、音にこだわりをもつミュージシャンに愛用されている。また使用している7弦ギターは実の父親が製作した楽器である。